



発行日：平成23年10月1日
 発行元：社会福祉法人すずらんの会
 理事長 大長 義信
 〒252-0328
 相模原市南区麻溝台 7-1-7
 TEL: 042-749-8881
 URL: <http://www.suzuran.or.jp>

巻頭言 半期が過ぎて

理事長 大長 義信

暑かった夏も過ぎ、ようやく秋を感じられる季節になりました。

地球温暖化の為せるわざなのでしょうが、気象の上では年々異常と云う字の付く現象が多くなっています。今年も37度にもなる日中の気温や100ミリを超すゲリラ豪雨、速度の遅い大型台風が多かった事など日本中に広く被害を及ぼした事が毎日の様に伝えられました。

世界を見てもアメリカでの竜巻の異常発生やら、アフリカでは砂漠化の急速な進行など異常気象と関係がありそうな現象が報じられています。日本が世界に向けて公言した二酸化炭素の削減目標も、長引く政治的停滞の陰に埋もれてしまいました。この間に地球規模の異変がどんどん進んでいくように感じ、早く行動に移さなければなりません。後れをとることになるでしょう。

3月の大震災の影響は遠く離れた私たちの所にも様々な形で陰を落としていますが、現地被災者の皆さんが少しずつ元を取り戻してくれるにつれ、私たちにも少しずつ安心感が広がっています。ここでも政治の無力さに引き換え、地元の人達やボランティアとして馳せ参じた多くの人達の活力には感心するばかりです。お金は出しても身体は動かさない自分達の事を考えると、恥ずかしい気持ちを感じ得ません。

それでも法人経営の面ではこの半期は何とか無事に過ごしてきました。本年度の大きなテーマに据えて来た児童デイサービスの拡充施策もようやく軌道に乗り、来年1月のスタートに向けて鋭意努力しています。

最後になりましたが、みなさまに支えられて20年が経過し、やっと独り立ちが出来るようになったのを機に、これまで経済的なバックアップを頂いて来たすずらんの会後援会が発展的に解散され、その活動の一部は父母会に移管されることになりました。永い間の後援活動に対してこの場を借りて深甚なる感謝を申し上げます。今後も、役員、職員一丸となって地域福祉向上の為に努力して参る所存でございます。



(グリーンハウス)

すずらんの会では6月～9月の期間、法人内の全事業所で計画節電(昨年同期比20%使用電力減)を実施。『多少の不便や不都合は・・・』を基本姿勢に具体策を検討し、取り組みをスタートしました。



(ワークショップ・フレンド)

計画節電 目標達成！！ 事務長 千田 博伸

東日本大震災の影響から全国の電力事情が逼迫している最中、異常気象による暑さと豪雨とその湿気でエアコン頼りとなる夏を迎えることになり、国を挙げての節電対策に大わらわとなりました。

私たちがこの国難を乗り切るためには自ら努力をしなければ・・・と、特に電力使用量が増大する6月～9月の4ヶ月間を強化月間とし、電気使用量の前年度比20%削減を目標に、全事業所で計画節電に取り組んでまいりました。利用者の活動を考えたエアコン設定温度へのこだわり、電灯の間引き・LED化、グリーンカーテンの敷設等それぞれに工夫を凝らして取り組んだ結果、強化月間での節減量は法人全体で前年同期比26%減と目標を達成することができ、多少なりとも国への貢献ができたのではないかと考えています。なお、この節電への取組に起因した熱中症等の疾病事故も無く、利用者、職員とも元気に乗り切ることができました。また、副次効果として強化期間中(4ヶ月間)の電気料金は、法人全体で前年度同期比50万円強の節減になっています。しかし、まだ日本の電力事情が改善されたわけではありません。心を引き締めて引き続き日々の節電を心掛けていきましょう！



達成

〈就労移行支援事業〉

一般企業に就職が可能と思われる（希望する）障害のある人に、事業所内外での各種体験等を通じた就職に必要なスキルの習得や、求職活動の支援・就職後の職場定着支援・離職時の支援等、幅広い就労支援を行います。なお、標準最長利用期間は2年間です。

障害のある人の地域生活・社会参加・社会貢献等に大きく寄与する一般就労へ、可能な限り制度を整備することを目的として、就労継続B型事業利用には、原則的に就労移行支援事業を経由することとされています。

すずらんの会

- ワークショップ・フレンド □□ワークショップ・SUN
- グリーンハウス □□ワークセンターやまと
- すずらんの家 □□大和市障害者自立支援センター

〈就労継続支援事業〉



A型とB型があります。

- A型は事業所と雇用契約を結び、給与は県の最低賃金が保障されます。法人内にはA型事業所はありませんが、県内には農園芸業やパン製造業、クリーニング業等20カ所のA型事業所があります。
- B型事業所は雇用契約ではなく利用契約となり、施設での仕事の提供、職員からの見守りや社会生活に必要な生活支援等のサービスを受けます。法人内には平成23年度、3カ所のB型事業所があります。法人内のB型事業所の特色としては、施設内作業のみでなく一般就労を視野にいれた施設外作業にも力を入れていることです。

すずらんの会

- ワークショップ・SUN (B型) □□グリーンハウス (B型)
- ワークセンターやまと (B型)

〈自立訓練事業〉

自立訓練には、知的及び精神障害者を対象とする「生活訓練」と、身体障害者を対象とする「機能訓練」とがあります。

- 「生活訓練」：主に新卒者・入所施設退所者・病院退院者を対象として、自立した地域生活に必要な生活習慣を習得するための訓練を実施するほか、生活等に関する相談支援等を行います。宿泊型もありますが、事業所は多くないようです
- 「機能訓練」：主に新卒者・入所施設退所者・病院退院者を対象として、地域生活に必要な身体機能の維持回復のための理学療法や作業療法等の必要なりハビリテーションを実施するほか、生活等に関する相談支援等を行います。

- すずらんの会 □□ワークショップ・フレンド (生活訓練)

特集『ライフステージ』その2

18歳の選択

今回は18歳になった障害のある青年がどのような進路を選択し、大人への第一歩を踏み出して行くのか.....主に障害者自立支援法に基づきいくつかの選択肢をあげてみました。

わからない
どうしよう？

- ・制度が分かりにくいけど...
- ・障害者手帳とは、どんなもの？
- ・サービスをつかいたいけど...
- ・働きたいけど...
- ・自立した生活をしてみたいけど...
- ・外出したいけど一人では、不安...

就労



その他
(大学・専門
学校など)

職業訓練校
能力開発校

療養介護

在宅就労

相談

公的関係機関
教育機関
サービス提供事業所
相談支援事業所

就労移行
支援

就労継続
支援

自立
訓練

生活
介護

地域活動支援
センター

〈生活介護事業〉

生活介護事業の日中活動については、障害程度区分の判定が区分3以上の人が利用できます。利用期間に期限はありません。

生産活動（作業）や創作的活動、排泄及び食事、衣類の着脱等、気持ちよく日常生活を送る上で必要な支援を行います。外出の機会を提供し社会生活のルールやマナーも学習します。又、自立した生活を送る為に相談、助言も行います。

すずらんの会

- グリーンハウス □□すずらんの家 □□ぱれっと

〈相談支援事業〉

相談支援事業は、障害のある人やそのご家族から、専門の相談員が様々な相談を受けることで、住み慣れた地域で安心して豊かな生活を送ることができるように支援する事業です。実施方法は、お住まいの市町村により異なりますが、障害のある人とそのご家族の地域生活を支えるための事業ですので、「どんな福祉サービスが利用できるのか知りたい」「学校を卒業した後どうしよう」「こんな暮らしがしたい」「子供の将来に不安がある」等、障害福祉に関することであればどんなことでも相談することができます。学校卒業後の地域生活についても広い視点に立って支援できる事業ですので、何か困ったことや心配なことがあった時には、お住まいの地域の相談支援事業所に相談をしてみてください。

すずらんの会

障害のある人の地域生活がより充実したものとなるように相談支援を実施しています。

□□グリーン・コスセンター

- 〈神奈川県指定相談支援事業〉
相談支援事業を利用するためのサービス支給決定がされている、障害がある人が対象。
- 〈相模原市障害者相談支援事業〉
相模原市在住の人が対象。

☎042-749-8881
(営業時間 月～金 9:00～16:00)

□□大和市障害者自立支援センター

- 〈神奈川県指定相談支援事業〉
相談支援事業を利用するためのサービス支給決定がされている、障害がある人が対象。
- 〈大和市障害者相談支援事業〉
大和市在住の人が対象。

☎046-265-5198
(営業時間 月～土 8:30～17:15)



ボランティア交流会報告

余暇支援委員会 辰口 大樹

7月30日(土)グリーンハウスにて、日頃から余暇支援活動にご協力いただいている講師・ボランティアの方々と余暇支援委員会との交流会を開催いたしました。当日は、14名の講師・ボランティアの方々が参加され、自己紹介と活動の様子を報告して頂きました。

余暇活動で見せる利用者の皆さんの様々な表情も聞かせていただきました。中には職場での悩み事を聞いてもらっている就労者もあり、フォローアップの一端を担っていただいている様子がわかりました。また、講師・ボランティアの方々が活動中に感じた事や要望等の意見も多く、今後の余暇活動を行う上で有意義な交流会となりました。

交流会で出された様々な意見、要望等を改善策につなげ、利用者の皆さんに楽しく余暇支援活動に参加していただけるよう、講師・ボランティアの方々と力を合わせて活動を行っていきます。



(ワイビレッジ2)

共同募金



ホームすずらん 遠藤 恵子

ありがとう



地域の皆さんからお寄せいただいた寄付金を、各ホームで環境整備のために使用させて戴きました。温かいご協力に感謝申し上げます。

「ワイビレッジ2」にはベランダを設置しました。洗濯物を部屋干ししなくて済むようになり、布団も簡単に干せるようになりました。

「さんたらっぷ」では新しい給湯器に交換し、安全で快適に入浴できるようになっています。入居者に、衛生的で心地よい生活空間を提供できるよう、今後も気を配っていきたいと思います。

イベントのお知らせ



サロンコンサート

日時 平成23年10月8日(土)

場所 相模女子大学 マーガレットホール4F
ガーデンホール

フェスタすずらん

日時 平成23年10月29日(土)

場所 グリーンハウス

すずらん Pure Heart 作品展

日時 平成23年10月24日(月)～

平成23年10月28日(金)

場所 相模原市市民健康文化センター

クリスマスコンサート

日時 平成23年12月17日(土)

場所 相模原市市民健康文化センター

研修報告

研修委員会 佐々木 雅子

研修委員会では利用者支援をより充実させるために、職員の支援力をスキルアップ出来るよう研修を実施しています。毎年度企画する内部研修のうち数回は外部講師を招いた研修を企画しています。

今年度もこれまでに『成年後見制度を知る』『障害者雇用の事例報告と企業が支援者・家族にもとめるもの』というテーマで外部講師を招いた研修を企画いたしました。今年度はその内容から参加者の枠を施設職員だけに留めず、保護者・ご家族の方にも研修のご案内をさせていただきました。

今後も福祉の動向を見ながら実践に即した研修の企画を行い、研修の内容によっては保護者・ご家族の方にも参加していただける機会を作っていこうと考えています。

寄付

住友スリーエム(株)
労働組合 様

あたたかいご厚意を
ありがとうございました。

編集後記

震災や台風などの自然の脅威や政治経済の目まぐるしい変動の中で、日々不安を抱えながら過ごす昨今、せめて毎日の身近な生活の営みは安定したものであって欲しいと思います。前号より始まった特集「ライフステージ」では、障害のある皆さんが人生の節目で、より安心できる有意義な生き方を見つけられるヒントをお届けしたい、という思いで一同頑張っています。